

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察													
学校教育目標・教育方針①	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を作成するに当たり、保護者や地域の実態・ニーズを踏まえて設定している。	<table><tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>48%</td></tr><tr><td>②</td><td>52%</td></tr><tr><td>③</td><td>0%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></table>	評価結果	割合	①	48%	②	52%	③	0%	④	0%	⑤	0%	評価結果についての分析・課題	概ね学校は、保護者や地域の方から、肯定的評価を80%以上いただき、実態、ニーズを踏まえて学校教育目標や教育方針を設定していると評価されていると考える。
	評価結果	割合															
	①	48%															
	②	52%															
③	0%																
④	0%																
⑤	0%																
児童		各学校においては、この「評価・考察」欄の分析等の記入をお願いします。	課題解決への方策	今後とも保護者や地域と連携し、児童の実態を踏まえた教育方針等について家庭・地域に説明していく。													
保護者	学校は、保護者のニーズをとらえて学校教育目標や教育方針を設定している。	<table><tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>34%</td></tr><tr><td>②</td><td>47%</td></tr><tr><td>③</td><td>6%</td></tr><tr><td>④</td><td>2%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>11%</td></tr></table>	評価結果	割合	①	34%	②	47%	③	6%	④	2%	⑤	11%	学校関係者評価委員会による評価	概ね、保護者や地域の方々に伝わっているが、更に理解を深める必要がある。 今後も、保護者・地域へ向けた学校教育目標・教育方針のわかりやすい具体的な説明に留意し、相互の意見交換等も必要かと思われる。	
評価結果	割合																
①	34%																
②	47%																
③	6%																
④	2%																
⑤	11%																
地域	学校は、地域の声を反映して学校教育目標や教育方針を設定している。	<table><tr><th>評価結果</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>44%</td></tr><tr><td>②</td><td>56%</td></tr><tr><td>③</td><td>0%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></table>	評価結果	割合	①	44%	②	56%	③	0%	④	0%	⑤	0%			
評価結果	割合																
①	44%																
②	56%																
③	0%																
④	0%																
⑤	0%																

評価結果
について
の分析・
課題

課題解決
への方策

学校関係
者評価委
員会によ
る評価

概ね学校は、保護者や地域の方から、肯定的評価を80%以上いただき、実態、ニーズを踏まえて学校教育目標や教育方針を設定していると評価されていると考える。

今後とも保護者や地域と連携し、児童の実態を踏まえた教育方針等について家庭・地域に説明していく。

概ね、保護者や地域の方々に伝わっているが、更に理解を深める必要がある。
今後も、保護者・地域へ向けた学校教育目標・教育方針のわかりやすい具体的な説明に留意し、相互の意見交換等も必要かと思われる。

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針②	教職員	学校は、学校教育目標や教育方針を、保護者や地域住民に広く周知している。	62% 38% 0% □① □② □③ □④ □⑤	評価結果についての分析・課題 概ね学校は、保護者や地域の方から、肯定的評価を80%以上いただき、学校教育目標や教育方針を学校だより等で周知ができたと考える。
	児童	私は、学校教育目標を知っている。	79% 12% 4% 5% 0% □① □② □③ □④ □⑤	課題解決への方策 今後とも地域の回覧板やホームページを活用したり、保護者会や各行事の機会をとらえて、家庭・地域に説明していく。また低学年の児童に対しては、朝会や各行事のたびに繰り返し説明することで周知していく。
	保護者	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	60% 34% 4% 2% 0% □① □② □③ □④ □⑤	学校関係者評価委員会による評価 低学年への周知は、工夫が必要かと思うが、良く周知できている。学校からの毎月のお知らせとして掲載されるなど、目にする機会は十分にある。また、保護者からの回答の向上について方策を検討する余地がある。
	地域	学校の教育目標や教育方針について、プリントで読んだり説明を受けたりしたことがある。	100% 0% □① □② □③ □④ □⑤	

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
教育課程・学習指導 ③	教職員	教職員は、わかりやすく工夫した授業を行っている。	29% 71% 0% 0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題
	児童	先生方は、わかりやすく工夫した授業をしている。	84% 14% 1% 1% 75% 80% 85% 90% 95% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決への方策
	保護者			学校関係者評価委員会による評価
	地域			

わかりやすく工夫した授業を行っているかに対して肯定的に答えた児童は、昨年度と同様に高い数値となった。学び合い学習やチームティーチングさらには個別の支援を継続して行ってきた成果だといえる。

過去10年以上、鶴ヶ島市では「学び合い学習」を推進している。それを受けて本校は本年度、学校課題研究として国語科を中心に取り組んだ。特に本校児童の課題と捉えている「読む力」を伸ばすための経験を積み重ねてきた結果と考える。また、担当いただいた講師の方からは教師の授業に対する姿勢や心構えについて学ぶことができ、授業展開にすぐに生かすことができたことも大きい。

授業参観の際の工夫ももちろんであるが、児童と教師が一緒に授業を作り上げている様子(高学年)がうかがえた。今後もこの高い数値を継続していただきたい。タブレットや大型モニターの活用など、設備の利用も工夫されていて時代の進歩を感じた。教職員の回答で肯定的評価の割合が低いのは、教師の要求水準の高さに由来するものと思われる。児童の回答の否定的評価が一定数いるが、授業で困っている子への対応は継続して研究して欲しい。

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察	
教育課程・学習指導 ④	教職員	児童は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		評価結果 について の分析・ 課題	例年この項目は、教職員の評価と児童の評価に差が見られる。教職員が求める望ましい態度がなかなか児童に伝わっていない現状がある。
	児童	私は、授業中話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		課題解決 への方策	話をしっかり聞く場面において、教職員が伝えたかったことは何だったか、振り返る時間を引き続き確保していく。発達段階に応じた理解度をその都度確認し、評価することで、教職員と児童の話を聞く意識、落ちついた態度で学習する意識を高めていく。
	保護者	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。		学校関係 者評価委 員会によ る評価	落ち着きがない子もいるが、そっと教師がサポートしているのを感じた。保護者や児童と教師の方で評価の開きが見られるのは、教師が、「さらに上を」「もう少しできる」と思っているからだと考える。また、先生方の授業の工夫や意識付けができていていると考える。
	地域	児童は、授業中人の話をよく聞き、落ち着いた態度で学習している。			

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察										
生徒指導・規律ある態度 ⑤	教職員	教職員は、児童の問題行動等に対して、組織的に、毅然とした態度で対応している。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>81%</td></tr><tr><td>②</td><td>19%</td></tr><tr><td>③</td><td>0%</td></tr></table>	評価項目	割合	①	81%	②	19%	③	0%	評価結果 についての 分析・ 課題	教職員、児童、保護者共に、例年同様高い評価を得ることができた。特に教師に関しては、肯定的回答がさらに増加し、問題が生じた時に全教職員で組織で対応してきた成果が確実に表れているといえる。	
	評価項目	割合												
	①	81%												
	②	19%												
③	0%													
児童	先生方は、いじめやトラブルなどの問題に対して、きちんと指導してくれる。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>87%</td></tr><tr><td>②</td><td>11%</td></tr><tr><td>③</td><td>1%</td></tr><tr><td>④</td><td>1%</td></tr></table>	評価項目	割合	①	87%	②	11%	③	1%	④	1%	課題解決 への方策	基本は未然防止が大切であるが、万が一問題行動が発生した際には、些細なことも見逃さずに、組織で共有して速やかに対応する。いじめは、大人の目の届かないところで行われることが多いため、抱え込まずにすぐに相談できることを児童に広く周知する。また、家庭との連携を密に行い、情報を共有しながら児童の問題行動に対処していく。
評価項目	割合													
①	87%													
②	11%													
③	1%													
④	1%													
保護者	教職員は、児童が学校の決まりや集団生活・社会生活でのルールやマナーなどが守れるよう指導している。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>71%</td></tr><tr><td>②</td><td>24%</td></tr><tr><td>③</td><td>2%</td></tr><tr><td>④</td><td>3%</td></tr></table>	評価項目	割合	①	71%	②	24%	③	2%	④	3%	学校関係 者評価委 員会によ る評価	教師が、日々、小さなトラブルにも丁寧に対応しているのと同時に、指導が適切に行われていると感じる。学校内の事は教師も把握しやすいが、学校外での出来事はなかなか対応しきれないと思うので、各家庭や地域とも連携して未然防止できると良い。児童と保護者の一定数は、否定的評価でとらえている。教師の目の届かない所でいじめが発生している可能性もあると思われるので、親からの相談や子どもの学校での動向などさらなる注意をお願いしたい。
評価項目	割合													
①	71%													
②	24%													
③	2%													
④	3%													
地域														

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導・規律ある態度 ⑥	教職員	児童は、学校の決まりを守り、学校生活を送っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	評価結果についての分析・課題 例年同様、「①そう思う」と回答する教職員と児童の数値には差がある。9割以上の教職員、児童、保護者が肯定的な回答をしているが、学校のきまりを指導しきれていないと感じる教職員と、守れていないと自覚している児童が一定数いることが課題である。
	児童	私は学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	課題解決への方策 学校のきまりについて、教職員が同一歩調で指導にあたることが大切である。また、児童の意識に違いがあるため、来年度までに学校のきまりをHPで周知することで、家庭とも連携し、学級指導や全体指導で粘り強く指導し続けていく。
	保護者	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	学校関係者評価委員会による評価 学校のきまりを指導しきれていない先生が、どのような部分の指導が出来ていないかを学校内で共有し、教師が一丸となって指導していただければありがたい。 学校のきまりの教育的意義を確認しつつ不易と流行のスタンスで指導の継続をお願いしたい。
	地域	児童は、学校のきまりを守り、学校生活を送っている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察													
生徒指導・規律ある態度 ⑦	教職員	児童は校内ですすんであいさつをしている。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>5%</td></tr><tr><td>②</td><td>49%</td></tr><tr><td>③</td><td>41%</td></tr><tr><td>④</td><td>5%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></table>	評価項目	割合	①	5%	②	49%	③	41%	④	5%	⑤	0%	評価結果について の分析・課題	児童の肯定的回答は昨年度より増加し80%を超えている。「すすんで」というのは難しいが、あいさつに対する意識は、日頃の指導や「あいさつ運動」等で高まっている。コロナ禍で地域の方の取り組みが減ってしまい、あいさつのよさを感じる機会が少なくなってしまったのは残念である。
	評価項目	割合															
	①	5%															
	②	49%															
③	41%																
④	5%																
⑤	0%																
児童	私は、すすんであいさつをしている。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>52%</td></tr><tr><td>②</td><td>34%</td></tr><tr><td>③</td><td>11%</td></tr><tr><td>④</td><td>2%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></table>	評価項目	割合	①	52%	②	34%	③	11%	④	2%	⑤	0%	課題解決 への方策	学校・家庭・地域が手本となってあいさつを行うことを、これからも機会があるごとにお願ひしていきたい。また「あいさつ運動」のように児童が主体となってあいさつすることのよさを感じられるような取組みを来年度も計画的に設定する。	
評価項目	割合																
①	52%																
②	34%																
③	11%																
④	2%																
⑤	0%																
保護者	児童は、家族や近所の人にすすんであいさつをしている。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>29%</td></tr><tr><td>②</td><td>44%</td></tr><tr><td>③</td><td>20%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></table>	評価項目	割合	①	29%	②	44%	③	20%	④	0%	⑤	0%	学校関係者 評価委員会による 評価	全体的に登校班の集団よりも、学校の中で単独ですれ違う時などの方が、率先して挨拶されることが多い。保護者をもっと頻繁に学校に関わるようにすればあいさつの機会も増えると考えます。対人関係の潤滑剤としても心を開く練習としても、あいさつの習慣を身に付けることは大切である。また、学校でのあいさつがきちんとできていれば大きな問題ではない。	
評価項目	割合																
①	29%																
②	44%																
③	20%																
④	0%																
⑤	0%																
地域	児童は、地域の人にすすんであいさつをしている。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>22%</td></tr><tr><td>②</td><td>56%</td></tr><tr><td>③</td><td>22%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></table>	評価項目	割合	①	22%	②	56%	③	22%	④	0%	⑤	0%			
評価項目	割合																
①	22%																
②	56%																
③	22%																
④	0%																
⑤	0%																

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
安全 ⑧	教職員	学校は、登下校時の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果についての分析・課題 日頃の登下校指導や交通安全教室、防犯教室、避難訓練を通して指導を計画的に行ったことにより、9割以上の児童、保護者が肯定的回答をした。一方、安全対策に不安を感じている児童、保護者もいるため、対策をしていく必要がある。本年度は自転車事故もゼロ件であったことも大きいと考える。
	児童	安全に、安心して登下校できる。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決への方策 警察や保護者、地域の方々のご理解とご協力を得ながら、学校の実情に沿った安全対策を見直していく必要がある。また、児童に対しては発達段階に応じた安全指導を繰り返し行っていく。
	保護者	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係者評価委員会による評価 約6パーセントの生徒が安全に安心して登下校できていないと思っているのが心配である。活動を継続して不安を少しでも取り除くことが児童と保護者の否定的評価が、ゼロに近づいていくのに大事である。何に対して安全安心と思えないのか聞き取り、不安を取り除けるよう努めていただきたい。地域の見守り隊とPTA地区安全委員と学校との連携で子どもたちの日々の安全な登下校が保たれていると思う。
	地域	学校は、保護者・地域住民と協力して、登下校の交通安全・不審者対策に関わる安全対策に取り組んでいる。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察													
保護者・地域との連携 ⑨	教職員	学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>19%</td></tr><tr><td>②</td><td>81%</td></tr><tr><td>③</td><td>0%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></table>	評価項目	割合	①	19%	②	81%	③	0%	④	0%	⑤	0%	評価結果についての分析・課題	家庭からの肯定的回答は9割を切ってしまった。毎月発行している学校だよりも家庭・地域に根づいてきたが、まだまだ、HP等で広く地域に周知する必要があった。
	評価項目	割合															
	①	19%															
	②	81%															
③	0%																
④	0%																
⑤	0%																
児童				課題解決への方策	引き続き、身近な話題を家庭や地域に発信していくために学校だよりを定期的に発行する。HPや自治会の回覧板も活用し、学校の教育方針や情報を知っていただく。												
保護者		学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>45%</td></tr><tr><td>②</td><td>43%</td></tr><tr><td>③</td><td>7%</td></tr><tr><td>④</td><td>5%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></table>	評価項目	割合	①	45%	②	43%	③	7%	④	5%	⑤	0%	学校関係者評価委員会による評価	情報は散らばっていたり、更新されたりされなかったりすると、ソースとして利用しにくいと考える。「ここを見れば必要な情報がたいていある」という信頼性の高い場所（情報配信システムや学校ホームページ）をしっかりと更新していけば保護者の利用も増えてゆくのではないかな。
評価項目	割合																
①	45%																
②	43%																
③	7%																
④	5%																
⑤	0%																
地域		学校は、情報を積極的に発信し、地域に根ざした、開かれた学校づくりに努めている。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>56%</td></tr><tr><td>②</td><td>44%</td></tr><tr><td>③</td><td>0%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr></table>	評価項目	割合	①	56%	②	44%	③	0%	④	0%	⑤	0%		
評価項目	割合																
①	56%																
②	44%																
③	0%																
④	0%																
⑤	0%																

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察													
保護者・地域との連携 ⑩	教職員	学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>15%</td></tr><tr><td>②</td><td>80%</td></tr><tr><td>③</td><td>0%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>5%</td></tr></table>	評価項目	割合	①	15%	②	80%	③	0%	④	0%	⑤	5%	評価結果についての分析・課題	Withコロナということで、登校指導や、1年生給食補助、校外学習補助、新町っ子マラソン補助等で保護者・地域住民の協力をいただいた。社会の情勢と共に教育活動も変化する中で、学校応援団をはじめとする様々な方に協力をいただく必要がある。
	評価項目	割合															
	①	15%															
	②	80%															
③	0%																
④	0%																
⑤	5%																
児童				課題解決への方策	Withコロナの教育活動の様子や学校応援団の活躍を広く周知する。また、家庭・地域と連携しながら、学校応援団の新規会員募集を継続して行う。												
保護者		学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>38%</td></tr><tr><td>②</td><td>42%</td></tr><tr><td>③</td><td>4%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>16%</td></tr></table>	評価項目	割合	①	38%	②	42%	③	4%	④	0%	⑤	16%	学校関係者評価委員会による評価	学校応援団は、頼まれれば頼まれるほどイキイキとして活動する方ばかりである。学校応援団の詳細など、地域の方々に情報提供・情報共有が必要である。一定の協力者には感謝状などがあると良いと考える。学校応援団で活動している方の声を地域に伝えて、新規会員の拡充を図ったり、回覧板等も活用する方策も考えてはどうか。
評価項目	割合																
①	38%																
②	42%																
③	4%																
④	0%																
⑤	16%																
地域		学校は、保護者・地域住民などの地域人材を教育活動に活用している。	<table><tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr><tr><td>①</td><td>33%</td></tr><tr><td>②</td><td>45%</td></tr><tr><td>③</td><td>0%</td></tr><tr><td>④</td><td>0%</td></tr><tr><td>⑤</td><td>22%</td></tr></table>	評価項目	割合	①	33%	②	45%	③	0%	④	0%	⑤	22%		
評価項目	割合																
①	33%																
②	45%																
③	0%																
④	0%																
⑤	22%																

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校環境⑪	教職員	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れる など、組織的に環境美 化に努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	評価結果 について の分析・ 課題 清掃活動や掲示教育については、昨年度同様概ね良好な評価を得ている。「①そう思う」と回答した児童も多く、余計なおしゃべりはせず集中して清掃する意識が高まった。児童会を中心に主体的に掃除をする取り組みもあり、しっかりと清掃活動を行おうとする意識が向上したといえる。
	児童	私は学校をきれいに しようと心がけ、清掃 をしている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	課題解決 への方策 これからも、清掃活動中に教職員が児童を褒めながら指導に回り、児童に自信と学校に対する愛着を持たせるようにする。掲示教育に関しては、児童を大切にしたい作品掲示や、季節に配慮した掲示を引き続き行っていく。
	保護者	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れ、 環境美化に努めてい る。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	学校関係 者評価委 員会によ る評価 学校での清掃活動がきちんと子供の身に付き、家でも活かされていると感じている。学校はもちろんのこと、地域にたいしても清掃活動をしようという児童の意識の高さが見受けられる。今後も自分達の通う学校、住む町に対して大切にするという意識を期待したい。校舎が老朽化し、清掃してもきれいになりにくいと考える。内装の塗り替え等、市との連携で対応を進められるとよい。
	地域	学校は、清掃活動や 掲示教育に力を入れ、 環境美化に努めてい る。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% ■① ■② ■③ ■④ ■⑤	

新町

小学校

評価結果：①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
働き方改革⑫	教職員	⑫学校は、働き方改革を進め、教科指導や教育相談等、直接児童に係る時間が増えるよう努めている。	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	評価結果についての分析・課題 Withコロナで少しずつ通常の活動が戻ってきたが、日常の業務は非常に多いと感じている教職員は多い。しかし、業務改善委員会を立ち上げた結果、目に見えて、変化が感じられ、肯定的評価が高くなったととらえている。
	児童		0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	課題解決への方策 昨年度から、教職員の中から業務改善推進委員会を立ち上げた。日常業務の精選や改善の検討を進めるのと同時に、これまでの当たり前のことにも目を向け、思考の転換を図り業務の効率化にも着手して成果を上げることができた。来年度も引き続き進めていく。
	保護者		0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	学校関係者評価委員会による評価 Withコロナとして、ここからが働き方改革の本番になる起点だと思う。教職員が心身ともに健康な状態でいないと児童も不安になるとわれす。教師がのびのびと勤務できる環境づくりに努めることは結果的には子ども達へのよりよい指導へとつながっていくと考える。
	地域		0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100% □① □② □③ □④ □⑤	